



DENI 18 キャブレターキット 取扱説明書

S - Stage 専用

商品番号 : 03 - 05 - 0054 (キャブレターキット)
 : 03 - 02 - 017 (マニホールドセット)
 適応車種 : マグナフィフティ
 フレーム番号 : AC13 - 1000001 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
 - ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
- イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～ 特 徴 ～

マグナ50用 S Stageキット専用扱い易いキャブレターを設定し、STD スロットルハウジングを使用出来るようにハイスロットル用ケーブルをセットしました。取り付けはボルトオンで、STD エアクリーナー及び弊社製エアフィルターが使用出来ます。

ご使用前に必ずお読み下さい

- 取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- 当製品は、上記適応車種、フレーム番号の S Stage 取り付け車両専用用品です。STD エンジン及び他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- 当キャブレターキットには、オプションのエアフィルターを装着した状態で、エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので雨天中の走行はおひかえ下さい。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。
- 当製品のキャブレターは、次頁の状態でお届けしております。使用部品や自然現象に応じたセッティングをする必要があります。個々のエンジンに合ったセッティングを行って下さい。
- 補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
- ノーマルスロットル使用可能。
 マッドプロテクト取り付け不可。
- ブローバイガス還元装置付の車両 (AC13 - 1100001 ~) にエアフィルターを取り付ける場合は、ブローバイガス還元装置対応のエアフィルター (03 - 01 - 110) を必ず使用して下さい。
- 当製品には、下記オプションパーツが取り付け可能です。
- ・エアフィルター Type - 1 (ラウンドテーパー) (03 - 01 - 104) ¥2,500 (AC13 - 1000001 ~ 1100000)
 - ・エアフィルター Type - 2 (ラウンドテーパー) (03 - 01 - 110) ¥2,500 (AC13 - 1100001 ~)

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

~商品内容~



番号	部品名	数量
1	キャブレターASSY.	1
2	インレットパイプ	1
3	キャブレターガスケット	1
4	インレットパイプガスケット	1
5	スロットルケーブルCOMP. 810mm	1
6	ソケットキャップスクリュー 6×2.5	1
7	ソケットキャップスクリュー 6×2.0	4
8	六角ナット M6	1
9	プレーンワッシャ 6mm	3
10	メインジェット #85	1
11	Lレンチ 5mm	1
12	タイラップ 150mm	1
13	スペーサー	1

印はマニホールドセットの内容を示しています。

出荷時キャブレター状態

メインジェット	#92
スロージェット	#32
ジェットニードル	B2
クリップポジション	3段目
スロットルバルブ	#B2
エアスクリューオープニング	1-1/2

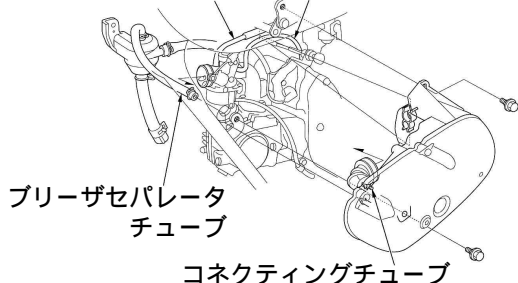
~取り付け要領~

- ⚠ 注意:必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。
 ⚠ 警告:水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。

キャブレターの取り外し

1. 車両を安定させた状態でコネクティングチューブバンドのスクリューを緩め、エアクリーナーケースマウントボルト2本を外し、エアクリーナーケースASSY.を取り外して下さい。
 STD エアクリーナーを使用しない場合は、エアクリーナーケースよりコネクティングチューブを取り外し、コネクティングチューブ穴より異物等が入らない様テープ等を貼って下さい。
 フレーム番号:AC13-1100001以降の車両は、エアクリーナーケースのチューブジョイントからブリーザーチューブを外して下さい。

フューエルチューブ エアVENTチューブ



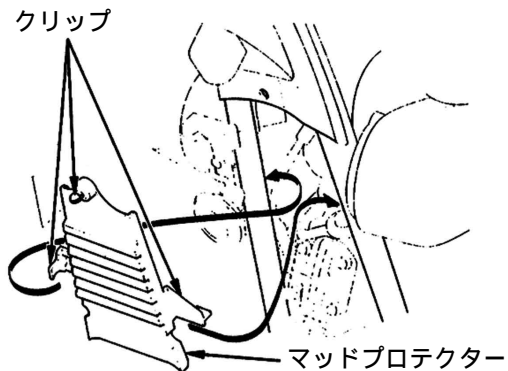
ブリーザーセパレーターチューブ

コネクティングチューブ

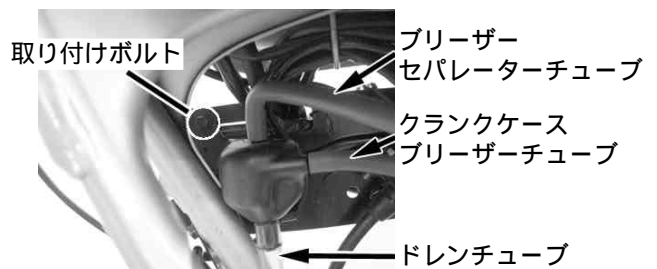
フレーム番号AC13-1100001以降のみ

2. 右側のエアクリーナーケースカバーを取り外して下さい。

3. マッドプロテクターのクリップを外して、マッドプロテクターをフレームから取り外して下さい。

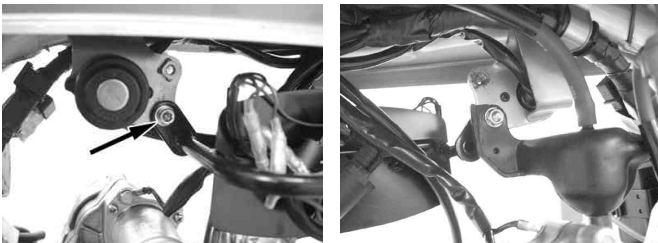


4. フレーム番号:AC13-1100001以降の車両のみ
 ブリーザータンクを右側エアクリーナーカバーステーから取り外し、上側のブリーザーセパレーターチューブと後ろ側のクランクケースブリーザーチューブを差し替え、下側ドレンチューブは約10mm切断し、短くして下さい。

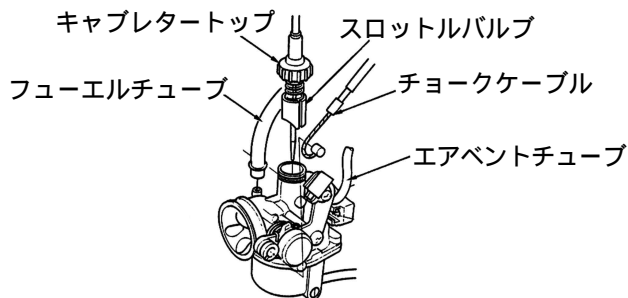


5. フレーム番号：AC13-1100001以降の車両のみ
 右側エアクリーナーカバーステーの後ろ側取り付け部の取り付けボルトを取り外し、ソケットキャップスクリュー、ブレンワッシャと交換し、ステー裏側のボルト部分にブレンワッシャ、ブリーザタンク、ブレンワッシャ、六角ナットの順で取り付け固定して下さい。
 後ろ側に差し替えたチューブは、クランクケースのブリーザジョイントに接続して下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



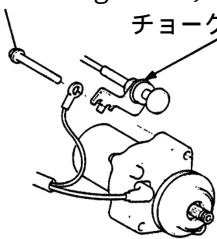
6. フューエルコックを閉じ、キャブレターのドレンスクリューを緩め、フロートチャンバーからキャブレター内のガソリンを受け皿等に抜き取って下さい。
 7. キャブレターからフューエルチューブ、エアVENTチューブ、チョークケーブル、キャブレタートップをそれぞれ取り外して下さい。エアVENTチューブは使用しませんので車体より取り外し、保管して下さい。



8. クランクケースセルモーター部分のチョークケーブルを取り外し、抜き取ったボルトを規定トルクで締め付けて下さい。

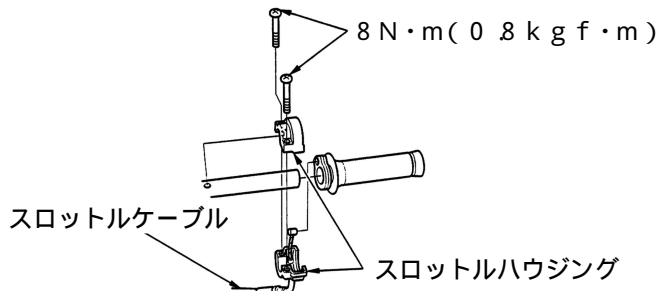
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)

12 N・m (1.2 kgf・m)
 チョークケーブルステー



9. スロットルケーブルロックナットを緩め、スロットルハウジング固定スクリュー2本を取り外し、スロットルハウジングを分割して下さい。

10. スロットルパイプからインナーケーブルを外し、アンダースロットルハウジングからスロットルケーブルを取り外して下さい。



11. シリンダーヘッドとインレットパイプを固定してあるボルト2本を取り外し、キャブレターをインレットパイプ、スロットルケーブル付きで、取り外して下さい。

キャブレターの取り付け

1. アンダースロットルハウジングに、スロットルケーブルを仮締めし、インナーケーブルをスロットルパイプに取り付けて下さい。この時、スロットルケーブルは、少し長めにアンダースロットルハウジングに仮締めして下さい。



2. スロットル摺動面にグリスを塗布し、スロットルパイプをハンドルパイプに差し込み、スロットルハウジングを取り付けて下さい。この時、スロットルハウジング前側のスクリューを先に締め付けて下さい。

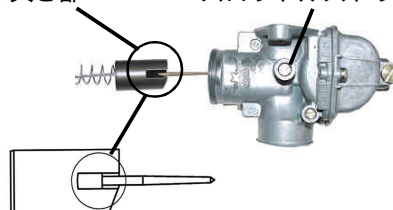
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 トルク：8 N・m (0.8 kgf・m)

3. スロットルケーブルを無理が掛からない様にシリンダーヘッド付近まで取り回して下さい。
 4. キャブレターASSYのフロートチャンバーを外し、メインジェットを付属のメインジェットに交換し、フロートチャンバーを元通りに取り付けて下さい。
 5. キャブレターASSYのトップカバーを外し、スロットルバルブスプリング、スロットルバルブを取り外し、スロットルケーブルにキャブレタートップを取り付け、スロットルバルブスプリングを圧縮した状態でスロットルバルブに取り付けて下さい。

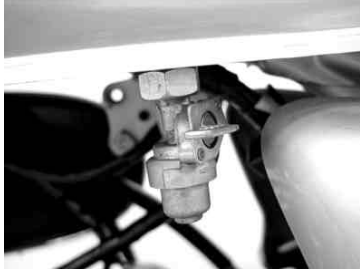


6. スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付けて下さい。

切り欠き部 (Notch) スロットルストップスクリュー (Throttle stop screw)

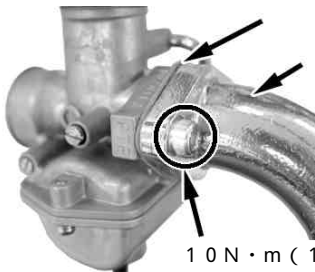


7. フューエルコックを右側へ約45°~90°回転させ、フューエルチューブをキャブレターASSY.に取り付け、チューブクリップを取り付けます。
この時、フューエルチューブは、チョークレバーの上を通るように取り回して下さい。



8. インレットパイプとキャブレターASSY.の間にキャブレターガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー2本にて締め付けて下さい。

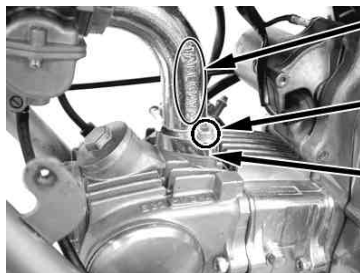
△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)



10N・m(1.0kgf・m)

9. シリンダーヘッドとインレットパイプの間にインレットパイプガスケットを挟み、ソケットキャップスクリュー2本にて締め付けて下さい。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：10N・m(1.0kgf・m)

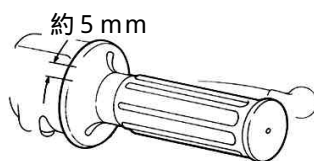


(TAKEGAWA)

10N・m
(1.0kgf・m)

10. 項目(1)で仮締めしたスロットルケーブルロックナットを締め付け固定し、スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来る様にスロットルケーブルのアジャスターにて調整して下さい。

△注意：ステアリングを左右いっぱいに切った状態で、スロットルに遊びが有る事を確認して下さい。
また、スロットルを数回スナップさせ、引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認して下さい。

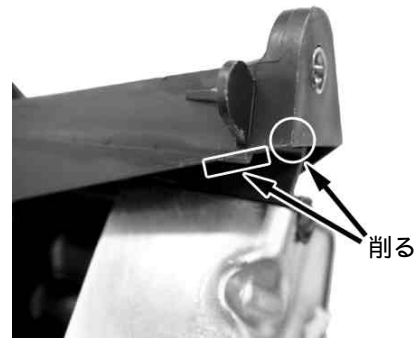


約5mm

11. STDエアクリーナー取り付け時

フレーム番号：AC13-1000001~1100000
エアクリーナーケース及び左右エアクリーナーケースカバーを取り付け、『キャブレターASSY.の吸い込み口側にスペーサーを取り付け、コネクティングチューブに接続し』コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付け固定して下さい。
この時、エアクリーナーケースのクランプにフューエルチューブを取り付け固定させて下さい。

フレーム番号：AC13-1100001~
エアクリーナーケースの後ろ側取り付け角部及び突起部を、図の様にヤスリ等で削り、エアクリーナーケースにプリーザタンクからのプリーザセパレーターチューブを接続し、エアクリーナーケース及び左右エアクリーナーケースカバーを取り付け、『キャブレターASSY.の吸い込み口側にスペーサーを取り付け、コネクティングチューブに接続し』コネクティングチューブバンドのスクリューを締め付け固定して下さい。
この時、エアクリーナーケースのクランプにフューエルチューブを取り付け固定させて下さい。



削る

弊社製エアフィルター

フレーム番号：AC13-1000001~1100000
別売りエアフィルター(03-01-104)をキャブレターASSY.に取り付け、バンドを締め付け固定し、エアクリーナーケース及び左右エアクリーナーケースカバーを取り付けて下さい。
この時、エアクリーナーケースのクランプにフューエルチューブを取り付け固定させて下さい。

フレーム番号：AC13-1100001~
別売りエアフィルター(03-01-110)をキャブレターASSY.に取り付け、バンドを締め付け固定し、エアフィルターのプリーザ接続部にプリーザセパレーターチューブを接続し、エアクリーナーケース及び左右エアクリーナーケースカバーを取り付けて下さい。
この時、エアクリーナーケースのクランプにフューエルチューブを取り付け固定させて下さい。

12. フューエルコックを開き、各部からガソリンの漏れが無いか確認して下さい。

13. チョークレバーを引きエンジンを始動させ各部からの吸気漏れの有無を確認して下さい。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを完全に戻して下さい。エンジン暖機後アイドルリングしない場合や、アイドルリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

△警告：必ず換気の良い場所でエンジンを始動させて下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721 25 1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

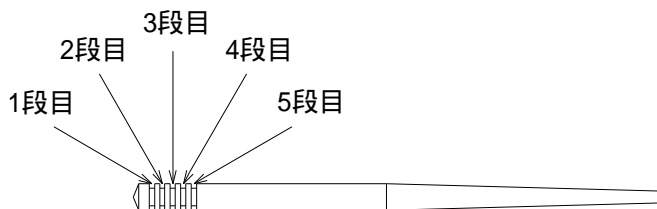
キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がり重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にはまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857